

科目	数学A	学年	第1学年	開講	通年	必修	2 単位
----	-----	----	------	----	----	----	------

教科書:「最新 数学A」数研出版
副教材:「3ROUND 数学 I +A」数研出版

1 学習の到達目標

図形の性質，場合の数と確率について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

2 学習計画及び評価方法

- a 知識・技能
- b 思考・判断・表現
- c 主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考查	評価の観点			
							a	b	c	
前期	場合の数と確率	場合の数	集合	場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	4	中間	○	○	○	
			集合の要素の個数				○	○	○	
			樹形図、和の法則、積の法則		5		○	○	○	
			順列				○	○	○	
			円順列と重複順列		6		○	○	○	
			組合せ				○	○	○	
		確率	確率の意味	確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	7	期末	○	○	○	
			確率の計算				○	○	○	
			確率の基本性質		9		○	○	○	
							○	○	○	
前期 授業評価							○	○	○	
後期	場合の数と確率	確率	和事象の確率		10	中間	○	○	○	
			余事象の確率				○	○	○	
			独立な試行の確率		11		○	○	○	
			反復試行の確率				○	○	○	
			条件付き確率		○		○	○		
			期待値		○		○	○		
		三角形の性質	角の二等分線と比	三角形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	11		○	○	○	
			三角形の外心・内心・重心				○	○	○	
			チェバの定理・メネラウスの定理				○	○	○	
							○	○	○	
	図形の性質	円の性質	円周角の定理	円の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	12	1	○	○	○	
			円に内接する四角形				○	○	○	
			円と接線		○		○	○	○	
			接線と弦の作る角				○	○	○	
			方べきの定理		2		○	○	○	
			2つの円				○	○	○	
			空間図形		空間における直線と平面		空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	3	期末	○
		多面体		○	○					○
				○	○					○
		後期 授業評価							○	○

3 評価の観点

・ 数学的な見方や考え方のよさを認識し，それらを事象の考察に活用しようとしているかどうか。
・ 事象を数学的に考察し，表現し処理する仕方や推論の方法を身につけ，的確に問題を解決できるかどうか。

4 評定の決め方

○知識・技能：定期考查
○思考・判断・表現：定期考查・レポート
○主体的に学習に取り組む態度：ワークショップ型授業・レポート